

医療の質を極め、地域と共に成長する。

病院案内

JUKO OSU HOSPITAL PROFILE



III ごあいさつ



当院は2024年1月1日に、熱田区にあった100床の重工記念病院が名古屋市中区に位置していた150床の大須病院と統合し、250床の重工大須病院として新たなスタートを切りました。現在、医療業界は少子高齢化の進展、医療従事者の不足、医療費の増加といった多くの課題に直面しています。さらに、日々進化する医療技術やデジタル化への対応も求められています。

当院は「医療の質を極め、地域と共に成長する。」という理念のもとこれらの課題に立ち向かうため、経営基盤の強化と効率的かつ質の高い医療サービスの提供に注力して参ります。当院の立地と規模を活かして近隣の医療や介護施設と密に連携を取りながら、急性期からサブアキュート、ポストアキュート、そして在宅医療へとつなげる役割を果たし、名古屋地区の地域医療を支えて参ります。地域の救急医療の中核として、24時間対応の救急体制を確立し、急患の受け入れや災害時の医療対応を担います。総合病院として皆様の多様な医療ニーズにお応えし、緊急性の高い疾患や複雑な病状に対応いたします。

東海地区の膝と肩の関節疾患やスポーツに対する医療を牽引してきた整形外科の専門性をさらに充実させ、手・肘関節、足・足関節、股関節、脊椎、再生医療に関しても、エビデンスに基づいたより高度な医療を提供いたします。また企業立病院としてのルーツを活かし、人間ドックや健診事業を充実させ、地域住民や会社従業員の皆様の予防医療や健康づくりにも力を入れていきます。

患者さんや地域の皆様にとって、病院は治療の場だけでなく健康の維持と増進のためのパートナーでもあるべきです。当院では、健康フェスティバルや専門医による公開講座などを定期的で開催し、地域に開かれた病院を目指します。

重工大須病院 院長 黒河内 和俊



当院は中区南西部の住宅街にあり、地域の皆様の生活や安心を支える拠点となることを目指しています。

2040年問題に代表される、高齢者人口の増加や医療資源の逼迫は、私たち医療機関のみならず、地域全体で取り組むべき喫緊の課題です。医療機関、介護施設、行政機関など、地域の皆様と顔の見える連携を深め、情報共有や意見交換を重ねることで、地域全体で協力し合える体制を構築したいと考えています。

患者さまのスムーズな受け入れから、退院後の生活を見据えた包括的な医療・リハビリテーションの提供まで、患者さん一人ひとりの声に耳を傾け、その人らしい人生を尊重した医療を提供します。

今後も、皆様との連携を一層強化し、地域医療の発展に貢献できるよう尽力いたします。地域の皆様と共に未来を切り拓きたいと願っております。

お困りのことがございましたら、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。

重工大須病院 副院長 山本 浩司

理 念

医療の質を極め、地域と共に成長する。

基本方針

主役は患者さん

- 患者さんの権利とプライバシーを尊重した医療を行います。
- 患者さんに十分な説明をし、納得される医療を行います。
- 患者さんに心のこもった対応をし、癒し・安らぎのある医療を行います。

安心して受けられる医療

- 新しい知識・技術の習得に励み、高度で良質な医療に努めます。
- 安全で信頼される医療を提供するため、院内感染・医療事故防止に努めます。

地域社会への貢献

- 医療を通して、地域社会の一員として貢献できるように努めます。
- 地域の中核病院として、他の医療・介護・福祉機関との連携を積極的に進めていきます。

当院の特徴



● 手術体制

整形外科では、幅広い運動器疾患の手術に対応しています。人工関節置換術や関節鏡を用いた再建術など、地域トップクラスの症例数を誇る高度な技術で、患者さん一人ひとりに適した治療を提供します。大腿骨骨折の手術は、48時間以内に行うなど緊急手術も積極的に行っています。

外科では、腹腔鏡手術や開腹手術を行っています。



● 救急体制

地域の2次救急病院として、24時間365日、迅速かつ高度な医療体制を整えています。採血やレントゲン、CT、MRIといった検査をはじめ、骨折や急性腹症など手術が必要な症例にもスピーディーに対応可能です。

また、診療後も地域の医療機関と連携し、患者さんの治療が途切れないよう努めています。



● 入院設備とリハビリ体制

急性期病棟、地域包括医療病棟、回復期リハビリテーション病棟を完備しており、入院が必要な患者さん一人ひとりに適した環境で医療サービスを提供しています。また、回復期には専門のリハビリテーション病棟で多職種スタッフが連携し、集中的なリハビリを行う体制を整えています。



● 健診と検査体制

MRIや内視鏡をはじめとする充実した検査設備を備え、病気の早期発見・正確な診断に向けて、さまざまな角度から体の状態を調べることが可能です。

専門スタッフが丁寧に対応し、皆様の健康保持増進のサポートをさせていただきます。



● 通いやすい診療形態

当院では時間外診療をはじめとした、様々なライフスタイルの方々のご自身の都合に合わせて安心して通っていただきやすいように診療形態を整えています。

科目に関わらず診療を行っていますので、どんな症状でもご相談ください。

病院概要

事業主体	医療法人桂名会 重工大須病院
住所	〒460-0017 愛知県名古屋市中区松原二丁目17番5号
電話番号	【代表】052-212-8981 【地域連携福祉相談室】052-212-8427 (平日9:00~17:00/第2・4土曜9:00~12:00) 【総合健診センター】052-212-8403 (平日8:00~17:00/第2・4土曜8:00~12:00)
病床数	250床 (急性期病棟30床、地域包括医療病棟40床、回復期リハビリテーション病棟180床)
標榜診療科目	内科、循環器内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、リハビリテーション科、皮膚科、婦人科、整形外科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科、泌尿器科
健康保険の取り扱い	各種保険、労災指定、生活保護法指定病院

診療時間

	受付時間	診療時間
内科 (一般外来+予約の方)	8:30 ~ 11:30 / 13:00 ~ 16:30 第2・4土曜 8:30 ~ 11:30	9:00 ~ 12:00 / 13:30 ~ 17:00 第2・4土曜 9:00 ~ 12:00
外科	8:30 ~ 11:30	9:00 ~ 12:00
脳神経外科 (火・金曜)	13:00 ~ 15:00	13:30 ~ 15:30
整形外科 ※午後の診察は予約の方のみ	8:30 ~ 11:30 / ※13:00 ~ 16:30 第2・4土曜 8:30 ~ 11:30	9:00 ~ 12:00 / ※13:30 ~ 第2・4土曜 9:00 ~ 12:00
小児科 ※午後の診察は予約の方のみ	8:30 ~ 11:30 / ※13:30 ~ 16:30	9:00 ~ 12:00 / ※14:00 ~
婦人科 ※第1土曜は名古屋市がん検診のみ	8:30 ~ 11:30 第1土曜 6月～ ※8:30 ~ 11:30	9:00 ~ 12:00 第1土曜 6月～ ※9:00 ~ 12:00
耳鼻咽喉科 (月～水曜・金曜)	8:30 ~ 11:00	9:00 ~ 11:30
皮膚科	8:30 ~ 11:00 (火・木) 13:00 ~ 16:00 (月・水・金)	9:00 ~ 11:30 (火・木) 13:30 ~ 16:30 (月・水・金)
泌尿器科 (月・火・木曜)	8:30 ~ 11:00 第2・4土曜 8:30 ~ 11:00	9:00 ~ 11:30 第2・4土曜 9:00 ~ 11:30

※ 休診日……第1・3・5土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休診となります。

※ 診療科・担当医によって曜日や時間に変更になる場合がございます。詳しくはホームページをご確認ください。

館内案内 (北館・南館)

	北館		南館
5F	■ 会議室		
4F	■ 回復期リハビリテーション病棟		■ 地域包括医療病棟
3F	■ 回復期リハビリテーション病棟		■ 急性期病棟
2F	■ 回復期リハビリテーション病棟	渡り廊下	■ 手術室
1F	■ 総合受付・会計 ■ 診療各科 1～17 診察室・ER ■ 放射線科 (レントゲン・CT) ■ 総合健診センター ■ 地域連携福祉相談室		■ 管理フロア ■ 会議室
B1F	■ 内視鏡センター ■ リハビリテーション室		■ 放射線科 (MRI 等)



急性期病棟

急性期病棟は、病気やけがの発症直後や、急に症状が悪化した場合に、早急な治療やケアが必要な患者さんのための病棟です。医師や看護師、薬剤師などの医療スタッフが24時間体制で対応し、症状の安定に向けた集中的な治療を行います。

当院では、患者さんの治療がより効果的であるよう、多職種協働のチームでサポートしています。医師、薬剤師、看護師、療法士、栄養士、介護士、社会福祉士などが連携し、入退院支援カンファレンスや栄養カンファレンス、リハビリカンファレンス、認知症ラウンド、嚥下ラウンド、褥瘡ラウンドなどを通じて、患者さん一人ひとりに最適なケアを提供します。



地域包括医療病棟

高齢者の救急患者をはじめとした、救急疾患等の患者さんに対する適切な入院医療を行う病棟です。急性期の治療を終えた患者さんや在宅や施設からの入院受け入れも行います。

看護師や理学療法士、多職種チームで患者さんのリハビリテーションや栄養管理、入退院支援、在宅復帰などの機能を包括的に提供していきます。



手術室

当院はクリーン度クラス100の手術室を1室有した、合計4室の手術室で手術を行っています。整形外科・消化器外科の手術が中心で、腹腔鏡手術、関節鏡手術、人工膝関節手術支援ロボットを導入し、年間2000件以上の手術症例があります。

整形外科では、靭帯損傷、半月板損傷、肩の腱板損傷などは侵襲が少ない関節鏡を取り入れた手術を行うほか、膝・肩・股関節の人工関節置換術、観血的骨接合術、バネ指や神経移行術などの手の外科手術と幅広く手術を行っています。医師、看護師、臨床工学技士、放射線技師などが一つのチームとなり、全員一丸となって安心安全で質の高い手術を提供できるよう努力しています。

消化器外科では、鼠径ヘルニアや胆石症、慢性虫垂炎の手術を腹腔鏡手術にて行っています。

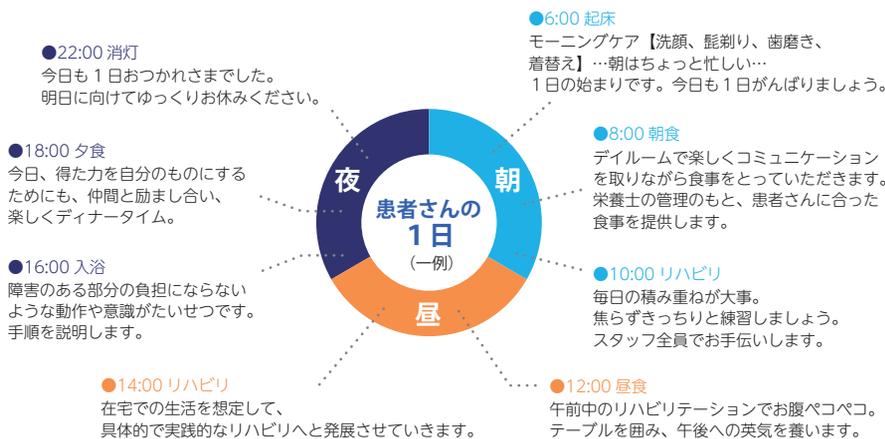


回復期リハビリテーション病棟

回復期とは、脳卒中や骨折の手術など急性期の治療を終えて、病状が安定し始めた段階を指します。この回復期に、リハビリを集中的に行う病棟が「回復期リハビリテーション病棟」です。

当院の回復期リハビリテーション病棟では、医師、ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、ケアワーカー、看護師など多職種のスタッフがチームとなり、患者さんの状態に合わせたリハビリプログラムを提供しています。歩行、食事、排泄、着替え、入浴などの日常生活動作の改善を目指し、リハビリを進めていきます。

また、ご家族との面談や帰宅に向けた訓練も行い、在宅復帰を目指して、ご家族にもご協力いただきます。さらに、入院生活全体をリハビリ環境として考え、患者さんの心のケアにも配慮しながらサポートしています。



リハビリテーションの体制

理学療法士

「起きる」「立つ」「歩く」「座る」といった基本的な運動機能の回復を支援します。立ち上がりや歩行訓練などの運動のほか、電気、温熱などを使った物理療法で身体機能の回復を目指します。



作業療法士

「食事」「入浴」「着替える」など、具体的な日常生活に必要な技術を心身両面から支援します。福祉用具の選定や生活環境の整備についても丁寧に助言を行います。



言語聴覚士

「話す」「聞く」「表現」「食べる」を支援します。失語症、構音障害、音声障害、聴覚障害、嚥下障害などのリハビリテーションを担当し、回復をサポートします。

一般的な訓練を行うリハビリテーション室のほか、日常生活での動きを再現するために、自宅環境を想定した玄関、段差廊下、テーブルやキッチン、トイレ、バスルームを完備した「ADLシミュレーションルーム」を設けています。

内科

内科では、地域の皆様の幅広いニーズにお応えできるよう、総合内科をはじめ、循環器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、脳神経内科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科の診療をしています。

また、集中治療が必要な最重症例や、高度な治療が必要な場合には、集中治療部を擁する施設へご紹介させていただく場合もございます。

整形外科

当院の整形外科の診療対象は運動器疾患全般となりますが、スポーツや事故による外傷（骨折）からご高齢の方の変性疾患（変形性関節症・骨粗しょう症など）まで、多岐にわたる病態が対象となります。

- ・変形性関節症に対しての人工関節置換術（膝・肩・股関節）
- ・膝周囲骨切り術（HTO、DFO、DLO）
- ・関節鏡を用いた手術
 - ↳膝関節：前十字靭帯再建・半月板縫合・膝蓋骨脱臼
 - ↳肩関節：腱板縫合・肩脱臼に対するバンカート手術
 - ↳手関節：TFCC損傷・ガングリオン切除・骨折修復
- ・外傷による骨折（大腿骨近位部骨折・橈骨遠位端骨折など）

◎ 赤外線式人工膝関節手術支援ロボット「CORI」導入

◎ 再生医療

当院では標準治療に加えて、新たな治療の選択肢としていち早く取り入れています。手術を受けるには、抵抗がある方、入院を避けたい方、体に負担をかけずに痛みを和らげたい方などにお勧めです。

【当院で可能な治療】

PRP/APS療法・PFC-FD療法・ASC療法
滑膜幹細胞治療

外科

消化器外科を中心に一般外科および乳腺外科について対応しています。

外来では、一般外科、大腸肛門外科、乳腺外来診療を行っています。検査は、消化器精査（造影や内視鏡や超音波など）、乳房精査（超音波や針生検など）も行います。手術に關しましては、一般外科疾患（皮下腫瘍性病変、虫垂炎、肛門疾患、鼠径ヘルニア、胆石症など）、消化器がん（大腸がん、胃がんなど）、乳がんなどの手術と外来化学療法を担当しています。

◎ 名古屋市乳がん検診

小児科

新生児から中学生までの肺炎や胃腸炎などの感染症、気管支喘息やアトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどのアレルギー疾患などの内科的疾患と予防接種や乳児健診など小児保健に対応しています。

◎ 心理外来

◎ 予防接種

婦人科

子宮がん検診を中心に、不正出血、月経不順、月経困難症などの月経異常、子宮筋腫や卵巣腫瘍などの婦人科良性腫瘍、更年期障害、性器脱、帯下異常などの検査・治療を行っています。

手術は行っていませんので、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんといった婦人科悪性腫瘍疾患や、婦人科良性疾患でも手術の対象となる方には適切な医療機関を紹介しています。

※産科、不妊治療は行っておりません。

◎ 名古屋市子宮がん検診

◎ 子宮頸がん予防接種

（※公費のキャッチアップ接種のみ）



皮膚科

皮膚科疾患全般について診察いたします。月・水・金曜日は午後に、火・木曜日は午前外来診療を行っています。

対応疾患は一般的な皮膚疾患から、皮膚腫瘍（皮膚のできもの）、皮下腫瘍（粉瘤、脂肪腫など）、アトピー性皮膚炎のほか、液体窒素以外を用いた痛くないイボ治療、水イボの痛み止めテープの貼り方指導、巻き爪のワイヤー治療などを行っています。また、皮膚悪性腫瘍が疑われる場合など、当院で対応できない場合でも大学病院などの医療機関へ速やかに紹介いたします。

また、シミ取りクリームの販売も行っています。(午後)

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科では、耳・鼻・咽喉の病気を診療しています。中耳炎、花粉症、扁桃炎など、一般的によく知られている病気のほか、めまい、顔面神経麻痺、睡眠時無呼吸症候群、首から上の腫瘍など、さまざまな疾患を取り扱っています。

泌尿器科

月・火・木・土曜日（第2・4のみ）に、泌尿器科一般の外来診療を行っています。腎臓から尿管、膀胱、尿道にいたる尿路系と、前立腺、精巣の病気の検査と治療を行っています。「尿が出にくい」「回数が増えた」などの症状がある方は一度ご相談ください。ED（勃起障害）の内服治療も行っています。

救急科

救急医療を中心に地域住民の皆様にとって身近で温かい医療を提供できるよう努力し、地域の2次救急病院としてさらなる活躍をするために、体制作りを強化して参ります。また患者さんが地域に戻っても治療が途切れないうよう、地域医療機関と密なコミュニケーションを築き、引継ぎを行っています。

当院は24時間365日、採血、レントゲン、CTやMRIなど高度な検査も可能です。骨折を疑う症例、急性腹痛などの手術が必要な症例も迅速に対応します。

麻酔科

麻酔科では皆様に安全な手術を受けていただけるように、高度な訓練を積み重ねた日本専門医機構認定麻酔科専門医が診療にあたっています。

個々の患者さんに合わせた質の高い医療を提供するために、手術を控えている患者さんには、外来で健康状態のチェック後、麻酔の方法とリスクについて説明しています。

喫煙は肺炎などのリスクだけではなく傷の治りを悪くしたり感染のリスクにもなるため手術予定日の1ヶ月前からの禁煙をお願いしています。

認知症認定看護師外来 **2025年新設**

認知症看護認定看護師による相談外来を開設しました。認知症の介護など、認知症に関する困りごとならなんでもご相談ください。

「最近、物忘れが……」「今までできていたことが急にできなくなった?」「もしかして、認知症かも?!」とご家族の方やご本人が心配に思うことがあった場合など、お気軽にご相談いただければと思います。

完全予約制

■ 相談時間

【火曜日】13:00~15:00 【水・木曜日】13:00~16:00

■ 予約受付

【電話番号】052-212-8130 (平日14:00~16:00)

[私たちの理念]

個人を尊重し、その人らしい暮らしへつなぐ愛ある看護を行います。



看護部
部長 前田 清美

私たちは、「個人を尊重し、その人らしい暮らしへつなぐ愛ある看護を行います。」という看護部の理念をもとに看護を実践しています。

当院は、急性期病棟、地域包括医療病棟、回復期リハビリテーション病棟を有するケアミックス病院です。それぞれの特性を活かした医療、看護を行っております。地域における医療連携では、患者さんを中心に医療機関等を結ぶ中継地点の役割を担っています。「何かあったら重工大須病院で診てもらえる。」と思っただけのように努めております。

2019年4月1日に「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」による時間外労働の上限規制が施行されました。それに伴い、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの検討や取り組みが推進されています。

私たちは、看護師の専門性のさらなる発揮に向けて裁量を活用していく必要があります。そのため、重工大須病院では、看護職の教育、人材育成に力を注ぎ、高度な看護実践能力と専門的役割を段階的に修得し、的確に判断し行動できる看護職員の育成に努めます。

地域、働くスタッフ、関わるすべての人々の健康維持に貢献し、安心・安全な看護を提供できるようあらゆる環境の整備に尽力していきます。

看護体制

看護職員数	約 185 名 (2025 年 4 月現在)
看護配置	急性期病棟：7 対 1 回復期病棟：13 対 1 地域包括医療病棟：10 対 1
特定看護師	2 名
専門・認定看護師	1 名
回復期リハビリテーション看護師 認定者	1 名

○ 臨床工学技士

当院には 3 名の臨床工学技士がいます。
病院全体の機器の管理はもちろん、タスク・シフトで手術における機器の管理、機械出しを行っています。

○ 看護補助者

当院では、特定技能、技能実習生といった海外人材の方々が多く活躍しています。
日本語の勉強もがんばっており、話をするのはもちろんのこと、漢字やひらがななどの日本語を書いたり、読んだりすることもできます。
また、介護福祉士や実務者研修修了者など介護の資格取得者も多く、ケアの質向上に努め、明るく、あふれる笑顔で患者さんの介護を行っています。



看護補助者

リハビリテーション部

[私たちの理念]

それぞれの「こうありたい」をカタチにする

私たちは、患者さん・ご家族・ならびに地域にお住まいの方々に
最大限の希望と、笑顔を提供できるよう、
一人ひとりの「こうありたい」をカタチにすることに全力を尽くします。

また、働くスタッフ一人ひとりの、
「ありたい姿」「やりがい」「成長の実現」
についても全力で取り組みます。



リハビリテーション部
部長 宮崎 友和

もっと寄り添う。きっとできる。ひとりでも多くの方に、心からの安心を。
私たちは「患者視点のリハビリテーションの普及」を、なにがあってもあきらめません。

私たちは、「患者さんにとっての希望とは何か」、「私たちにもっとできることはないか」と問い続けます。その想いを叶えるための行動を、どんなにちいさくとも起こし続けます。今日よりも希望ある明日を創り続ける、変革のチームでありたいと思います。

私たちリハビリテーション専門職は、臨床・教育・研究のそれぞれについて優れた能力を有するよう自己研鑽を継続し、患者さん・ご家族に寄り添う人間的な姿勢を身に付けます。

地域にお住まいの方々や病院を利用してくださるの方々、ならびにそのご家族が幸せに暮らせるためにあらゆる手段を用いて満足度の高い援助ができ、社会に貢献できる部門を目指します。

体 制

セラピスト人数	215名(2025年4月現在) PT154名、OT46名、ST15名
疾患別リハビリテーション	脳血管疾患等リハビリテーション(I) 運動器リハビリテーション(I) 廃用リハビリテーション(I)
認定理学療法士(脳卒中)	3名
認定理学療法士(運動器)	5名
認定理学療法士(管理・運営)	1名
認定理学療法士(スポーツ)	2名
認定理学療法士(切断)	1名
3学会合同呼吸認定療法士	3名
回復期病棟セラピストマネージャー	5名

放射線科

放射線科では高性能機器を用いて、診断価値の高い画像情報を提供するように取り組んでいます。CT、MRI各装置を揃え各種検査に対応しています。

■医療機関の皆さまへ

- ・ 予約受付は平日 19:00 まで対応しています。
 - ・ 検査結果統影レポートは、検査当日に作成し患者さんにお渡ししています。
- 検査などでお困りのことがありましたら、ご相談ください。(受診フローはP14をご覧ください)



一般撮影装置



ポータブル撮影装置



X線TV装置



骨密度撮影装置



デジタルマンモ
(乳房)撮影装置



CT検査装置 (64列)



MRI検査装置 (1.5T 3T)

薬剤科

薬剤科では、入院患者さんの内服薬や外用薬を調剤する「調剤業務」、病棟に担当薬剤師が常駐し薬の管理を行う「病棟業務」、医師の指示に従い、患者さん個々に注射をセットして各病棟に払い出す「注射薬払い出し」のほか、医薬品の在庫管理、医薬品情報提供を行っています。

臨床検査科

臨床検査科では血液・尿などの検体検査と、心電図をはじめとした生理検査を行っています。これらはドック・健診においても担当しています。検査の質を保つのはもちろんですが、連携よく業務を行い、速やかに結果報告できるよう心がけております。また生理検査においては患者さんへの丁寧な対応を心がけています。

栄養科

栄養科では、食事も治療の一環として捉え、患者さんの早期退院に貢献することを目標としています。内科別疾患や、嚥下機能に合わせた食事内容の検討、術後のリハビリに必要な栄養管理を中心に、年齢や病態に合わせたお食事を提供しています。外来栄養指導・入院栄養指導も行っています。

内視鏡センター

重工大須病院内視鏡センターでは、最新の内視鏡機器を導入し、質の高い内視鏡診断・治療を提供しています。地域の医療機関の皆様からのご紹介にも迅速に対応し、患者さんの負担を最小限に抑えつつ、的確な診断と治療を行うことを目指しています。

患者さんに寄り添った医療を提供するとともに、地域の医療機関の皆様と密に連携し、円滑な診療支援を目指しています。検査や治療に関するご相談は、どうぞお気軽にお問い合わせください。



上部消化管内視鏡検査

食道、胃、十二指腸の疾患に対する精密検査や診断を行っています。緊急内視鏡による止血術や、内視鏡的胃瘻造設術にも対応可能です。鎮静剤を使用した苦痛の少ない検査にも力を入れています。

下部消化管内視鏡検査

検査枠を多く確保し、最短で翌日検査が可能です。ポリープ切除術は日帰りでの対応が可能です。必要に応じて迅速に病理診断を行います。鎮静剤を用いた検査も提供し、患者さんの負担を軽減しています。

胆膵領域の内視鏡検査・治療

内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）を用いた胆管結石除去やドレナージ術、ステント留置術など、胆膵領域の診断・治療にも対応しています。

医療機関との連携

紹介いただいた患者さんの検査結果や治療方針については、速やかに情報提供を行います。必要に応じて、迅速な追加検査や専門的な治療もご相談いただけます。

また、診療が終了した際には、ご紹介元へ必ずご案内します。

総合健診センター

病気の早期発見・早期治療のためにも、1年に1回など定期的な検診を受ける事はとても大切です。長い人生の通過点と捉え、継続して皆様の健康保持増進のお手伝いをしていきたいと考えています。



○ 定期健康診断・生活習慣病健診

- ▶ 雇入健診・法定健診
- ▶ 生活習慣病健診
- ▶ 企業健診（産業医）

○ 協会けんぽ

- ▶ 一般健診
- ▶ 付加健診
- ▶ 特定健康診査
- ▶ 肝炎ウイルス検査（任意）
- ▶ 乳がん / 子宮頸がん検診
- ▶ 子宮頸がん検診（単独）

○ 名古屋市健診（検診）

- ▶ がん検診（ワンコイン検診）
- ▶ 特定健診
- ▶ 骨粗しょう症検診
- ▶ ピロリ菌検査
- ▶ 胃がんリスク検査
- ▶ 30・35 健診

○ 人間ドック

- ▶ 日帰り人間ドック
- ▶ ドックオプション

地域連携福祉相談室

地域連携福祉相談室・患者さん相談窓口では、紹介患者受け入れのための病床管理の支援、退院調整及び各種相談業務を行っています。

私たちは、地域の医療・福祉・介護機関との連携の窓口として結ぶ役割を担い、患者さんから疾病に関する質問や生活上の不安など、さまざまな相談をお伺いしています。



病気やけがをされると、治療や療養の妨げとなる様々な生活上の不安や心配などが生じます。患者さんやご家族が抱える様々な相談をお受けし、その不安を軽減するための方法を一緒に考え、援助します。

① 医療・福祉相談

- 医療・福祉サービスや制度に関する相談と利用方法への援助に関する相談
- 入退院後の療養生活に関わる相談
- 医療・介護費などの経済的な問題に関わる相談
- セカンドオピニオンに関する相談

② 入退院に関する相談

- 地域の医療機関・福祉機関からの相談、紹介の受付、調整
- 入退院支援に関する相談
(急性期病棟・地域包括医療病棟・回復期リハビリテーション病棟・医療機関・介護療養施設)
- 医療保険サービス、介護保険及び介護保険サービスの利用に関する相談
- 在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問介護）の利用に関する相談
- その他、利用可能な施設に関する相談

③ 連携による地域貢献

- 地域住民の健康増進に寄与する（人間ドック 健康教室）
- 教育啓発活動への参加（小・中・高等学校等の職場体験 医療実習への協力）

ご利用・ご相談・お問合せ

ご相談の際は、病院受付・主治医・看護師・その他医療スタッフを通していただくか、直接ご連絡の上、地域連携福祉相談室へお越しください。

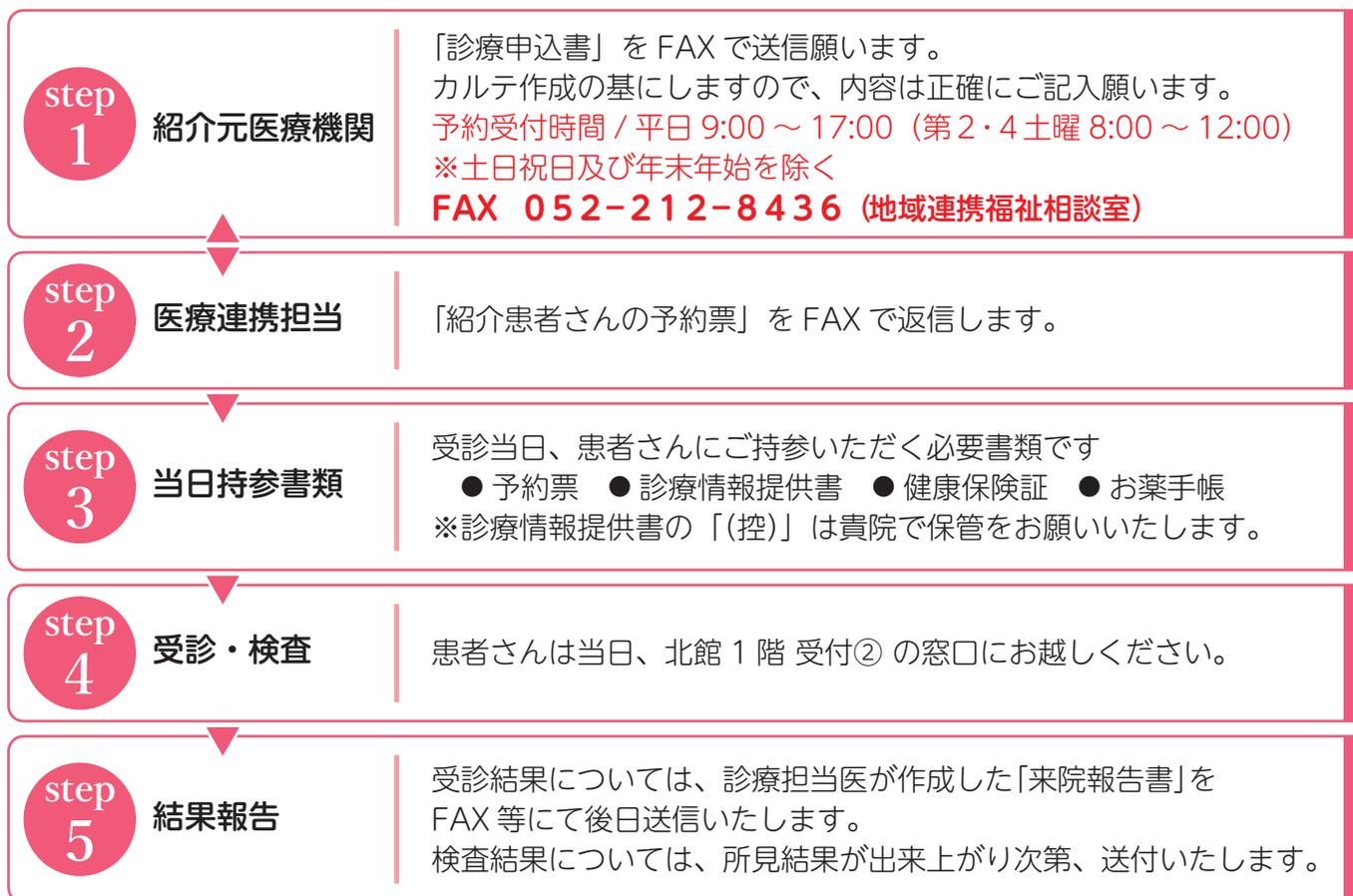
受付 平日 9:00～17:00（第2・4土曜 9:00～12:00）

※土日祝日および年末年始を除く

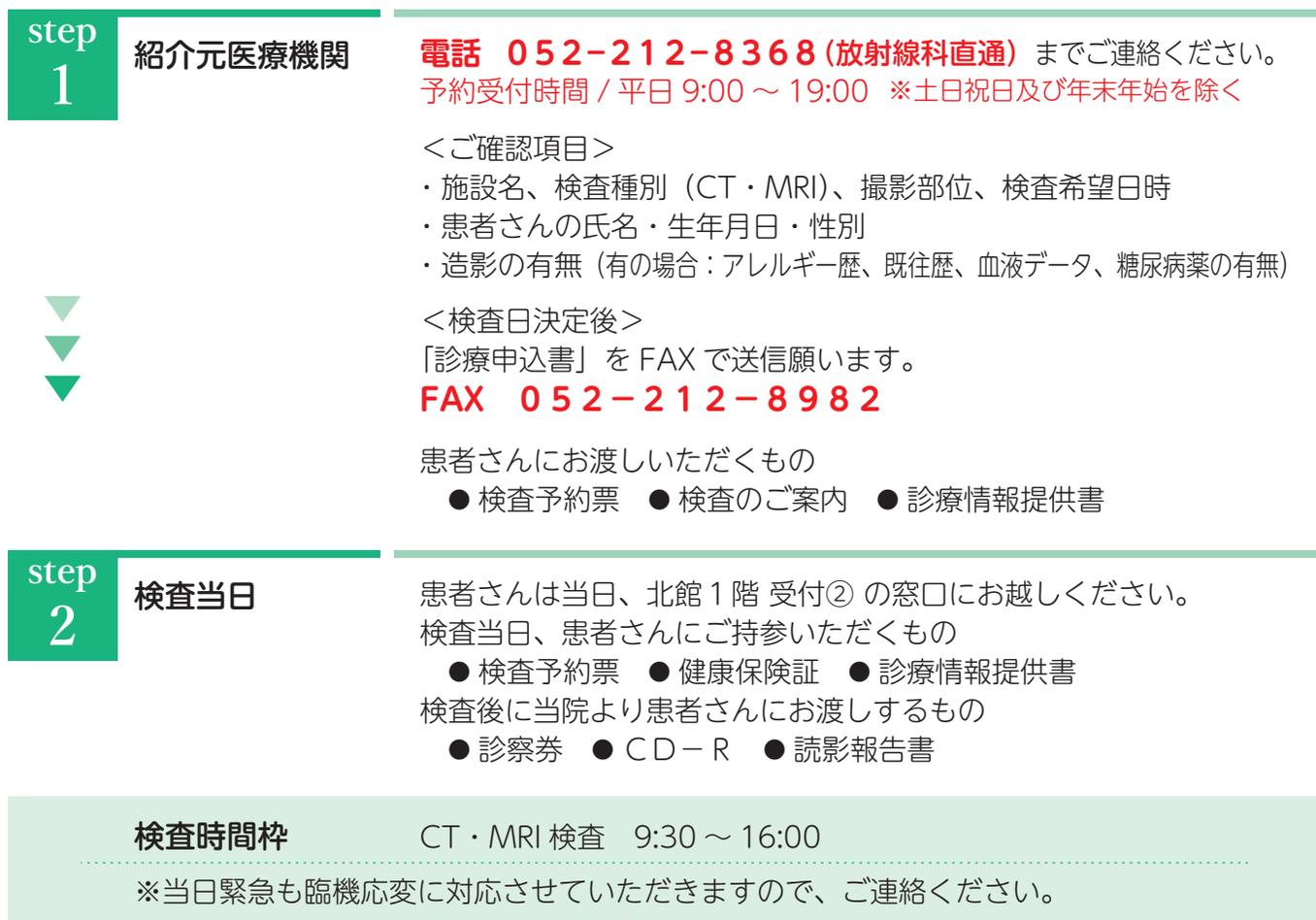
TEL 052-212-8427

FAX 052-212-8436

○ 紹介患者さんの受診フローチャート



○ CT・MRI 等画像診断の受診フローチャート



地域連携福祉相談室

【受付時間】 平日 9:00 ~ 17:00 (第2・4土曜 9:00 ~ 12:00)

電話 052-212-8427

FAX 052-212-8436

CT・MRI等画像診断 (検査予約・問合せ)

【受付時間】 平日 9:00 ~ 19:00

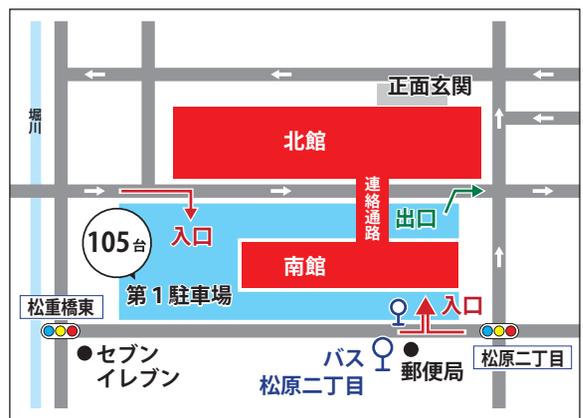
電話 052-212-8368 (放射線科直通)

FAX 052-212-8982

総合健診センター

【受付時間】 平日 8:00 ~ 17:00 (第2・4土曜 8:00 ~ 12:00)

電話 052-212-8403



- P** 第1駐車場 (南館側に105台)
※おからの不自由な方には、
北館・正面玄関前に駐車スペースがございます
-  地下鉄鶴舞線
「大須観音駅」3番出口より徒歩12分
-  名鉄本線
「山王駅」より徒歩13分
-  市バス(中巡回)
「松原二丁目」より徒歩2分

